

黒坂集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成23年12月4日

修正日：平成 年 月 日

市町村名	日野町	組織名	黒坂集落営農組合
1 地区の範囲 日野郡日野町黒坂地区			
2 地区の概要			
水田面積	11.908ha		
主な水田栽培作物	水稻		
農家数	29戸		
認定農業者数	0経営体		
地域水田農業ビジョンの担い手数	1経営体		
3 組織化の目標（設立時期の目標は、事業実施年度ないとする。）			
・ 設立時期（規約等の制定日）【平成23年12月4日】			
	組織形態（該当形態に○）	加入数	
【現状】前年度実績 （22年度）	・ 未組織 ・ 共同利用型 ・ 作業受託型 ・ 協業経営型	0戸	
【目標】事業開始翌年度 （24年度）	・ 共同利用型 ・ 協業経営型 ・ 作業受託型	23戸	
4 集積率（機械の表同利用と作業受託）の目標			
項目	【現状】	【目標】	
集積面積 ①	0ha	6.021ha	
うち作業受託 ②	0ha	6.021ha	
対象水田面積 A	11.908ha	11.908Ha	
集積率 ①/A	0%	※③	50.6%
うち作業受託 ②/A	0%	※④	50.6%
※③の集積率の目標は採択要件。50%超が必要。			
注1) ※④の作業受託による集積率の目標が、50%超の場合は事業費上限10,000千円、50%以下の場合は事業費上限5,000千円。			
注2) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。			

I 集落営農に対する基本方針（自由に記載）

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】

1 担い手の明確化及び水田利用集積目標

我々の黒坂集落も高齢化、後継者がいない等により、耕作放棄地が増加し加えて、現在使用している農業機械が壊れたら、更新をしてまで農業を続けたくないと考えている農家が大半を占めるにいたっております。

このような状況を打開するために集落営農組織を立上げ、農家の作業を支援しながら地域の担い手として、耕作できない農家の受け皿となり、耕作放棄地を出さない様に努めると共に、農家の所得向上を図りながら地域の活性化をめざしていきたいと思っております。

2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策

水稲の品種はヒトメボレ、コシヒカリ、ヒメノモチの3種類を作付けしており現状の品種を維持して作付ける。

作付け場所については、圃場ごとにバラバラに品種が作付けされているので、品種ごとにブロック化して作付け、防除、刈取等の効率化を図ることを目標とする。（将来に向けて研究・調整をしていく。）

3 農業用機械施設の効率利用

黒坂地区では、水稲作業について共同防除を行う以外は個人所有の機械によってその他作業を行ってきたが、耐用年数の経過した機械も多くなってきた。

しかし、高齢化と後継者不在のために機械更新を行えず、農業経営の存続を困難と考える農家も多い。

そこで、新たに防除の共同利用をもとにした集落営農組織を立ち上げ、平成23年度次世代につなぐ地域農業バックアップ事業に取り組み、平成24年冬に田植機（5条植）1台を導入し、共同機械利用体制を整備することにより、地域農業の維持発展を図っていきたい。

4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針

後継者不在の状況の中、新規就農者や地区外の担い手を取り込み、オペレーターの確保、組織の後継者育成を図っていく。

II 農業用機械施設の整備方針

1 本事業で導入する機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額（円）	導入予定年月
田植機	5条植	1台	1,730,000円	平成24年3月
		台	円	平成 年 月